

## Q&amp;A

## 下血の際に腹痛と血清アミラーゼ上昇を認めた症例

## 【問題】

症例：60歳代，男性。

主訴：下血。

既往歴：50歳：右肺癌にて右肺全摘出術。

家族歴：特記すべきことなし。

生活歴：飲酒：焼酎2合/日，喫煙：タバコ20本/日×30年間。

現病歴：下血の原因検索目的に，他院で上・下部消化管内視鏡検査および経口・経肛門小腸内視鏡検査を施行されたが出血源は同定できず，精査目的に当科紹介となる。

入院後経過：第8病日に腹痛と血便を認め，その際の採血にてHb 10.0g/dlと貧血を認め，また

血清アミラーゼ 643IU/l と上昇を認めた。

入院時現症：腹部平坦・軟，圧痛なし，その他特記すべきことなし。

検査所見（腹痛時）：WBC 6600/ $\mu$ l，Hb 10.0g/dl，Plt 24.7万/ $\mu$ l，T-Bil 0.8mg/dl，AST 18IU/l，ALT 13IU/l，LDH 146IU/l，ALP 251IU/l， $\gamma$ -GTP 18IU/l，AMY 643IU/l。

各種画像検査（Figure 1~3）を示す。

## 下血の原因として考えられる疾患は？

解答は（745p）に掲載

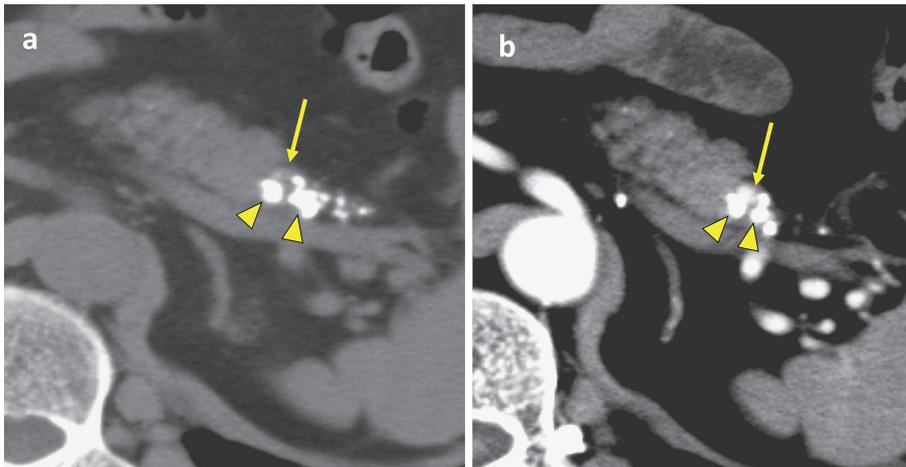
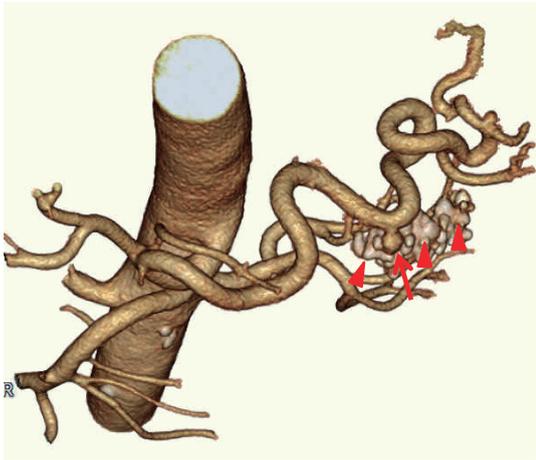
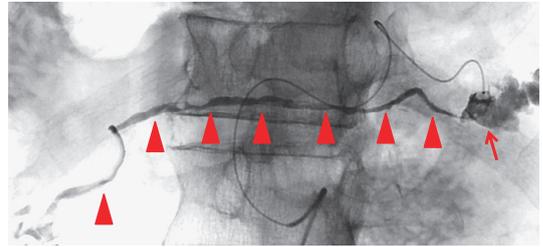


Figure 1. 腹部造影CT検査 a：単純，膵尾部に嚢石を多数認める（矢頭）。b：動脈相，膵尾部に動脈相で濃染する5mm大の領域を認め，脾動脈と交通を認める（矢印）。



**Figure 2.** 3D-CT 検査：脾動脈瘤（矢印）と周囲の碎石を認める（矢頭）.



**Figure 3.** 腹部血管造影検査：脾動脈からの造影にて動脈瘤（矢印）および、動脈瘤から主脾管への造影剤の流出（矢頭）を認める.